

表紙(必須)

1 募集区分	消防防災科学に関する論文	
2 応募者の区分	消防職員・消防団員の部	
3 作品名	〇〇〇〇に関する研究	
4 応募者		
(1)個人の場合		
<ul style="list-style-type: none"> ・「所属」、「氏名」欄に所属と氏名をフリガナ付で記入すること。 ・応募者全員を記入すること。その際、主たる応募者を最初に書くこと。 ・記入欄が足りない時は、行を追加すること。 		
フリガナ		フリガナ
所属		氏名
主たる	マルマルショウボウホンブ	ショウボウ タロウ
応募者	〇〇消防本部	消防 太郎
	マルマルショウボウホンブ	カサイ シズエ
	〇〇消防本部	火災 鎮枝
(2)団体の場合		
<ul style="list-style-type: none"> ・「団体名」欄に団体名をフリガナ付で記入すること。 		
フリガナ		
団体名		

5 他の公募等への応募状況

応募内容と関連した内容で、応募者が、学会発表、投稿、他の表彰への応募又は受賞をした場合は、以下の欄に記入し、当該発表資料・原稿・応募書類等を、応募作品の末尾に添付してください。

[口頭発表]

・消防太郎、火災鎮枝「〇〇〇〇に関する調査報告」第63回全国消防技術者会議(2015年11月25日)

[論文誌への投稿]

・消防太郎、火災鎮枝「住宅建物の延焼について」消防火災学会『消火』Vol.82 pp.66-71 (2015.5)

[修士論文]

・火災鎮枝「住宅の延焼メカニズムについて—戸建て住宅を対象とした調査・研究—」

6 連絡担当者

事務連絡担当者の情報を記入してください。

氏名	原田 究明
所属	〇〇消防本部 △△課
住所	〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4丁目35番3号
Tel	0422-44-8331
Fax	0422-44-8440
E-mail	hyosho2016@fri.go.jp
(該当するものを残す)	勤務先

概要(必須)

1 作品名	〇〇〇〇に関する研究
2 要旨(280字以内) *HP公表時に作品概要として使用します。	
<p>本研究は、当消防本部の所轄地域における建物火災について、鎮火に至るまでの時間と被害の規模の関係を調査し、被害拡大に寄与している要因を考察したものである。</p> <p>今回、当本部の所轄地域内の建物火災について、鎮火までに要した時間と被害の規模を調べた。</p> <p>その結果から、特に鎮火までに時間がかかった焼損面積の大きな火災は、要素1～4を一つ以上持っていることを明らかにし、それぞれの要素について対応策を示した。</p> <p>今後は、この対応策の有効性についての検証と、具体的に組織として実施するための方法を、他の部局の協力を得ながら進めていきたい。</p>	
3 先行研究との相違(ある場合のみ) *これまでの表彰作品事例などを確認すること。 例えば、消防庁 HP(http://nrifd.fdma.go.jp/exchange_collaborate/hyosho/index.html) 一般財団法人全国消防協会 HP(http://www.ffaj-shobo.or.jp/ronbun/index.html)	
<p>住宅地域の延焼性状についての研究は、木造密集地域の延焼に関する、氏姓論太「木造建物地域の延焼」(2014)等がある。また、大規模建築物に関しては、平成××年度消防庁表彰作品「都市における大規模建築物の延焼に関する研究」や、大都市防災研究所等で多くの研究がなされている。しかし、市域規模での火災の傾向について、細かく調査した研究は無かった。</p> <p>本研究は、2014年の消防・火災による論文「住宅特性と消防戦術(〇〇市における調査から)」によって得られた成果をさらに発展させ、当本部の火災統計と実際の火災内容とを照らし合わせて、建物火災の被害拡大に寄与する要因を明らかにし、その対策を提案した。この点は新しい成果である。また、今回の調査内容は、一地方都市の実態として資料的にも貴重であると考えられる。</p>	

本文(必須)

作品名	〇〇〇〇に関する研究
-----	------------

1.研究の背景

.....

2.先行研究

.....

3.実態調査

.....

4.検証

.....

5.考察

.....

6.結論

.....

7.今後の課題

.....

参考文献

- (1)〇〇消防本部(2014)『平成26年版〇〇市消防年報』総務課企画係発行
- (2)苗字名前(2013)「含有水分量に応じた木材の燃焼」『燃焼材料』Vol.30(2013年9月号)pp.68-76. 日本防火出版
- (3)大都市防災研究所編(2014)『防災とまちづくり』放水社
- (4)田中太郎(2013)『都市スケールと防災』消学館
- (5)氏姓論太(2014)「木造建物地域の延焼」『建物』Vol.62(2014年) pp.42-46.建築出版社
- (6)消防太郎・火災鎮枝(2014)「住宅特性と消防戦術(〇〇市における調査から)」『消防学術研究会資料集』(2014年秋号)pp.102-108. 消防研究会

図、表及び写真

(消防防災機器等の開発・改良のみ必須、他は任意)

※図、表及び写真には連番を振り、それぞれに説明書きを添えてください。

※写真に文字や矢印などの注釈を入れ込む場合は、その写真全体をグループ化してください。(編集の際に図の注釈が欠落しないようにするため)

HP 公表用の図、表及び写真の指定について

※受賞作品等になった場合、HP 公表時に作品概要として使用します。ご希望の図、表及び写真を1つ選び番号を記入してください。(図、表及び写真がない場合は不要)


HP 公表用の図、表及び写真の番号	図 5
<p>HP 公表の際、作品概要欄に掲載希望の写真等を以下のサイズ以内の大きさで貼付 (<u>タテ 2.5cm,ヨコ 3cm</u>)</p>	



図1 放水から鎮火までの所要時間と焼損面積



図2 覚知から放水開始までの所要時間と焼損面積



図3 A～D地区の発報から現地到着までの平均所要時間



図4 ○○市地図(国土地理院発行 5万分の1 地形図○○市)

(H29)

図、表及び写真



図5 延焼シミュレーションその1
(協力:大都市防災研究所)



図6 延焼シミュレーションその2
(協力:大都市防災研究所)

★アンケートにご協力ください

(これは事務運営に反映するための調査であり、作品の審査には一切影響しません。)

1. この表彰事業を何で知りましたか？該当するものを丸で囲んでください。

- (1) 消防署所での掲示を見て
- (2) 職場への案内で
- (3) 消防団からの案内で
- (4) 消防大学校で (_____ 科 第__期)
- (5) 消防研究センターのイベント等で (イベント名: _____)
- (6) 消防研究センターホームページを見て
- (7) 雑誌等に掲載された募集を見て (誌名: _____)
- (8) その他 (_____)

2. 応募作品の完成までにどのくらいの期間を要しましたか？該当するものを丸で囲んでください。

- (1) 1か月～3か月
- (2) 4か月～半年
- (3) 半年～1年
- (4) 1年以上
- (5) その他 (期間をご記入ください: _____)

3. 来年度も募集があれば、応募しますか？該当するものを丸で囲んでください。

- (1) 来年度も応募する
- (2) 来年度は応募しない (理由: _____)

ご協力ありがとうございました。